

取り違い注意: Weekly パクリタキセル療法には、胃がん用と乳がん用があります。

疾患名 : 再発又は転移性乳がん・術前術後化学療法 1クール : 7日

総クール数 : 補助化療 12クール、再発又は転移性はPDあるいはPS悪化まで

1. 薬剤

抗癌剤一般名	商品名	標準投与量	投与日	用量規制毒性
パクリタキセル	パクリタキセル	80 mg/m ²	Day1	骨髄抑制(好中球減少、白血球減少など)、過敏症、末梢神経障害、血圧低下

2. レジメン

投与日	Rp	ルート	投与時間	使用薬剤名	標準投与量	備考
Day1	1	点滴静注 (本管)	キープ& フラッシュ用	生食 100mL		血管外漏出・逆血予防のルート確認 ケモ終了時ルートのフラッシュ用にも使用する ※全量投与しなくてもよい
Day1	2	点滴静注 (本管)	30分	ファモチジン(20mg)	1A	レスタミンコーワ錠 5錠 内服
				デカドロン(3.3 mg/1mL) 生食 50mL	2A	
Day1	3	点滴静注 (本管)	60分	パクリタキセル 生食液 250mL	80 mg/m ²	専用の輸液セットを使用

3. 初回投与基準

- PS規定: PS 0、1、2
- 白血球 $\geq 3000/\mu\text{L}$ 、好中球数 $\geq 1500/\mu\text{L}$ 、血小板数 ≥ 7.5 万、ヘモグロビン $\geq 9.0\text{g/dL}$
- 発熱、CRP上昇あるいは白血球増加($\geq 12000/\mu\text{L}$)等の感染兆候なし
- 総ビリルビン $\leq 1.5\text{ mg/dL}$ 、AST、ALT $\leq 2 \times$ 施設の正常値上限
- クレアチニン $\leq 1.5\text{ mg/dL}$ 、BUN $\leq 25\text{mg/dL}$
- 心電図正常(心疾患、重篤な不整脈がない)

4. 次クール開始基準 (2クール目以降、投与前日又は当日に下記条件を満たさない場合は延期する。下記以外は初回投与基準に準じる。)

- 白血球 $\geq 2000/\mu\text{L}$ 、好中球数 $\geq 1000/\mu\text{L}$
- 発熱、CRP上昇あるいは白血球増加($\geq 12000/\mu\text{L}$)等の感染兆候なし
- 総ビリルビン $\leq 1.5\text{ mg/dL}$ 、AST、ALT $\leq 2 \times$ 施設の正常値上限
- クレアチニン $\leq 1.5\text{ mg/dL}$ 、BUN $\leq 25\text{mg/dL}$
- 心疾患、重篤な不整脈がない

5. 減量・中止基準 (前クール投与後に下記のいずれかに該当した場合は減量する。)

種類	最悪時の程度	次回投与量
好中球数 (白血球数)	500/ μL 未満 (1000/ μL 未満)	パクリタキセル 60 mg/m ² に減量、さらなる減量はせず中止
血小板	5万/ μL 未満	
非血液毒性	Grade3 以上	